

表A-9. 退院時療養先別の患者属性

退院時患者の療養先「在宅」になった患者(n=36)		退院時患者の療養先「病院」になった患者(n=5)				
	n	mean	sd	n	mean	sd
療養先の説明(あり/なし)	36	24(66.7)	12(33.3)	5	4(80.0)	1(20.0)
説明した人						
療養先の説明(あり/なし)						
説明した人						
主治医の回数	23	2.5 ±	4.5	3	1.0 ±	1.0
それ以外の人の回数	8	4.4 ±	4.7	2	1.0 ±	0.0
療養先の決断理由						
説明を受けて(そう思ったから/そう思わないから)	17	16(94.1)	1(5.9)	3	3(100.0)	0(0.0)
説明を受けて(そう思ったから/そう思わないから)						
身の回りの世話をする人がいるから/いないから	26	25(96.2)	1(3.8)	3	3(100.0)	0(0.0)
身の回りの世話をする人がいるから/いないから						
近くに住診医がいるから/いないから	10	8(80.0)	2(20.0)	2	0(0.0)	2(100.0)
近くに住診医がいるから/いないから						
治療を続けるから/やめるから	22	21(95.5)	1(4.5)	4	3(75.0)	1(25.0)
治療を続けるから/やめるから						
EQ-5D効用値	35	0.695 ±	0.234	5	0.663 ±	0.199
EQ-5D効用値						
HADS						
HADS-D	33			4		
HADS-D						
抑うつなし	22	(66.7)		2	(50.0)	
抑うつなし						
抑うつ疑診	5	(15.2)		0	(0.0)	
抑うつ疑診						
抑うつ確診	6	(18.2)		2	(50.0)	
抑うつ確診						
HADS-A	33			5		
HADS-A						
不安なし	24	(72.7)		2	(40.0)	
不安なし						
不安疑診	7	(21.2)		2	(40.0)	
不安疑診						
不安確診	2	(6.1)		1	(20.0)	
不安確診						

表A-10. 入院時に患者とその家族との希望療養先が一致したかどうか別患者属性(n=67)

「在宅」で一致(n=11) 「病院」で一致(n=28) 一致していない(n=28)

「在宅」で一致(n=11)				「病院」で一致(n=28)				一致していない(n=28)			
	n	mean	sd	n	mean	sd	n	mean	sd		
年齢	11	71.6 ±	8.4	28	72.5 ±	12.9	28	67.5 ±	10.2		
性別(男性/女性)	11	7(63.6) /	4(36.4)	28	15(53.6) /	13(46.4)	28	18(64.3) /	10(35.7)		
EQ-5D効用値	11	0.618 ±	0.262	26	0.434 ±	0.293	27	0.610 ±	0.248		
HADS											
HADS-D											
抑うつなし	11			25			24				
抑うつ疑診	5 (45.5)			5 (20.0)			13 (54.2)				
抑うつ確診	2 (18.2)			7 (28.0)			4 (16.7)				
	4 (36.4)			13 (52.0)			7 (29.2)				
HADS-A											
不安なし	11			25			25				
不安疑診	5 (45.5)			10 (40.0)			14 (56.0)				
不安確診	5 (45.5)			5 (20.0)			3 (12.0)				
	1 (9.1)			10 (40.0)			8 (32.0)				
主たる介護者の続柄											
配偶者	11			27			27				
子ども	7 (63.6)			11 (40.7)			19 (70.4)				
子どもの配偶者	2 (18.2)			10 (37.0)			5 (18.5)				
両親	0 (0.0)			2 (7.4)			2 (7.4)				
兄弟・姉妹	0 (0.0)			1 (3.7)			3 (11.1)				
その他	1 (9.1)			2 (7.4)			2 (7.4)				
	1 (9.1)			2 (7.4)			0 (0.0)				
家族以外で手伝える者の数	11	1.2 ±	1.0	25	1.1 ±	1.1	24	1.4 ±	1.4		
がんと診断されてから(ヶ月)	11	8.1 ±	7.6	28	29.6 ±	45.5	27	20.7 ±	30.3		
Performance Status	11	1.1 ±	1.1	28	2.4 ±	1.3	27	1.4 ±	1.3		
認知症の有無	4	2(50.0) /	2(50.0)	17	52(29.4) /	12(70.6)	4	0(0.0) /	4(100.0)		

表A-11. 入院時に患者とその家族との希望療養先が一致したかどうか別患者家族属性性(n=90)

「在宅」で一致(n=16)

「病院」で一致(n=35)

一致していない(n=39)

	n	mean	sd	n	mean	sd	n	mean	sd
年齢	16	55.4	± 15.1	34	61.7	± 13.5	39	59.0	± 12.1
性別(男性/女性)	16	5(31.3)	/ 11(68.8)	34	9(26.5)	/ 25(73.5)	39	9(23.1)	/ 30(76.9)
EQ-5D効用値	15	0.850	± 0.175	34	0.690	± 0.304	39	0.810	± 0.204
HADS									
HADS-D	16			34			35		
抑うつなし	9 (56.3)			14 (41.2)			19 (54.3)		
抑うつ疑診	3 (18.8)			9 (26.5)			5 (14.3)		
抑うつ確診	4 (25.0)			11 (32.4)			11 (31.4)		
HADS-A	16			33			37		
不安なし	10 (62.5)			15 (45.5)			18 (48.6)		
不安疑診	5 (31.3)			9 (27.3)			9 (24.3)		
不安確診	1 (6.3)			9 (27.3)			10 (27.0)		
患者との関係	16			33			38		
配偶者	9 (56.3)			15 (45.5)			22 (57.9)		
子ども	4 (25.0)			7 (21.2)			7 (18.4)		
子どもの配偶者	0 (0.0)			5 (15.2)			3 (7.9)		
両親	1 (6.3)			0 (0.0)			2 (5.3)		
兄弟・姉妹	1 (6.3)			5 (15.2)			3 (7.9)		
その他	1 (6.3)			1 (3.0)			1 (2.6)		
療養中の家族の人数	12	0.0	± 0.0	27	0.3	± 0.7	33	0.2	± 0.5
療養で身の回りの世話をする人以外の手伝いでいる人の数	14	0.6	± 0.6	30	0.7	± 0.8	34	0.7	± 1.1
家族以外で身の回りの手伝いをする人数	14	0.9	± 1.1	29	0.6	± 0.9	33	0.8	± 1.1

表A-12. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の不一致別入院時における患者属性

入院病院/退院病院(n=2)			入院在宅/退院在宅(n=25)			
	n	mean	sd	n	mean	sd
年齢	2	71.5	± 2.1	24	67.8	± 9.1
性別(男性/女性)	2	0(0.0)	/ 2(100.0)	24	18(75.0)	/ 6(25.0)
EQ-5D効用値	1	0.724	± -	24	0.681	± 0.221
HADS						
HADS-D	2			23		
抑うつなし	0	(0.0)		16	(69.6)	
抑うつ疑診	2	(100.0)		2	(8.7)	
抑うつ確診	0	(0.0)		5	(21.7)	
HADS-A	1			23		
不安なし	0	(0.0)		17	(73.9)	
不安疑診	1	(100.0)		3	(13.0)	
不安確診	0	(0.0)		3	(13.0)	
主たる介護者の続柄	2			23		
配偶者	1	(50.0)		17	(73.9)	
子ども	2	(100.0)		4	(17.4)	
子どもの配偶者	0	(0.0)		0	(0.0)	
両親	0	(0.0)		3	(13.0)	
兄弟・姉妹	0	(0.0)		1	(4.3)	
その他	0	(0.0)		0	(0.0)	
家族以外で手伝える者の数	2	0.0	± 0.0	22	1.6	± 1.2
がんと診断されてから(ヶ月)	2	6.5	± 6.4	24	7.3	± 10.1
Performance Status	2	1.5	± 0.7	24	1.0	± 1.0
認知症の有無(あり/なし)	1	1(0.0)	/ 0(100.0)	1	1(100.0)	/ 0(0.0)

表A-13. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先的一致不一致別の入院時における患者属性

	入院病院/退院在宅(n=3)			入院在宅/退院病院(n=2)		
	n	mean	sd	n	mean	sd
年齢	3	±	6.7	2	62.0 ±	7.1
性別(男性/女性)	3	2(66.7) /	1(33.3)	2	2(100.0) /	0(0.0)
EQ-5D効用値	3	±	0.235	2	0.557 ±	0.033
HADS						
HADS-D	3			2		
抑うつなし	1 (33.3)			0 (0.0)		
抑うつ疑診	1 (33.3)			2 (100.0)		
抑うつ確診	1 (33.3)			0 (0.0)		
HADS-A	3			2		
不安なし	1 (33.3)			0 (0.0)		
不安疑診	0 (0.0)			0 (0.0)		
不安確診	2 (67.7)			1 (100.0)		
主たる介護者の続柄	2			2		
配偶者	1 (50.0)			1 (50.0)		
子ども	1 (50.0)			0 (0.0)		
子どもの配偶者	0 (0.0)			0 (0.0)		
両親	0 (0.0)			0 (0.0)		
兄弟・姉妹	0 (0.0)			1 (50.0)		
その他	0 (0.0)			0 (0.0)		
家族以外で手伝える者の数	3	±	1.2	2	0.0 ±	0.0
がんと診断されてから(ヶ月)	3	±	14.4	2	43.5 ±	14.8
Performance Status	3	±	1.0	2	0.0 ±	0.0
認知症の有無(あり/なし)	0	- /	-	0	- /	-

表A-14. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致別の退院時における患者属性

入院病院/退院病院(n=2)				入院在宅/退院在宅(n=25)			
	n	mean	sd	n	mean	sd	
療養先の説明(あり/なし)	2	2(100.0)	0(0.0)	24	16(66.7)	8(33.3)	療養先の説明(あり/なし)
説明した人							説明した人
主治医の回数	2	1.5 ±	0.7	15	2.7 ±	5.6	主治医の回数
それ以外の人の回数	1	1.0 ±	-	5	5.4 ±	5.9	それ以外の人の回数
療養先の決断理由							療養先の決断理由
説明を受けてそう思ったから/そう思わないから)	1	1(100.0)	0(0.0)	12	12(100.0)	0(0.0)	説明を受けて(そう思ったから/そう思わないから)
身の周りの言葉をする人がいるから/いないから)	1	1(100.0)	0(0.0)	17	17(100.0)	0(0.0)	身の周りの言葉をする人がいるから/いないから)
近くに往診医がいるから/いないから)	0	-	-	5	3(60.0)	2(40.0)	近くに往診医がいるから/いないから)
治療を(続けるから/やめるから)	2	2(100.0)	0(0.0)	16	15(93.8)	1(6.3)	治療を(続けるから/やめるから)
EQ-5D効用値	2	0.624 ±	0.052	24	0.693 ±	0.215	EQ-5D効用値
HADS							HADS
HADS-D	2			24			HADS-D
抑うつなし	0	(0.0)		17	(70.8)		抑うつなし
抑うつ疑診	0	(0.0)		4	(16.7)		抑うつ疑診
抑うつ確診	2	(100.0)		3	(12.5)		抑うつ確診
HADS-A	2			23			HADS-A
不安なし	0	(0.0)		18	(78.3)		不安なし
不安疑診	1	(50.0)		4	(17.4)		不安疑診
不安確診	1	(50.0)		1	(4.3)		不安確診

表A-15. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致別の退院時における患者属性

入院病院/退院在宅(n=3)				入院在宅/退院病院(n=2)			
	n	mean	sd	n	mean	sd	
療養先の説明(あり/なし)	3	2(66.7)	1(33.3)	2	1(50.0)	1(50.0)	療養先の説明(あり/なし)
説明した人							説明した人
主治医の回数	2	2.0 ±	1.4	1	0.0 ±	-	主治医の回数
それ以外の人の回数	0	-	-	1	1.0 ±	-	それ以外の人の回数
療養先の決断理由							療養先の決断理由
説明を受けて(そう思ったから/そう思わないから)	0	-	-	1	1(100.0)	0(0.0)	説明を受けて(そう思ったから/そう思わないから)
身の回りの世話をする人がいるから/いないから	3	2(66.7)	1(33.3)	1	1(100.0)	0(0.0)	身の回りの世話をする人がいるから/いないから
近くに住診医がいるから/いないから	0	-	-	1	0(0.0)	1(100.0)	近くに住診医がいるから/いないから
治療を(続けるから/やめるから)	1	1(100.0)	0(0.0)	1	0(0.0)	1(100.0)	治療を(続けるから/やめるから)
EQ-5D効用値	3	0.689 ±	0.270	2	0.534 ±	0.0743	EQ-5D効用値
HADS							HADS
HADS-D	3			1			HADS-D
抑うつなし	1	(33.3)		1	(100.0)		抑うつなし
抑うつ疑診	1	(33.3)		0	(0.0)		抑うつ疑診
抑うつ確診	1	(33.3)		0	(0.0)		抑うつ確診
HADS-A				2			HADS-A
不安なし	1	(33.3)		1	(50.0)		不安なし
不安疑診	1	(33.3)		1	(50.0)		不安疑診
不安確診	1	(33.3)		0	(0.0)		不安確診

表A-16. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致別の退院時における患者家族属性

入院病院/退院病院(n=2)			入院在宅/退院在宅(n=28)			
	n	mean	sd	n	mean	sd
療養先の決断者(患者/家族)	2	2(100.0)	0(0.0)	26	12(46.2)	14(53.8)
療養先の決断者が家族の場合の患者との続柄						
配偶者	-	()		6	(75.0)	
子ども	-	()		2	(25.0)	
療養先の決断者が家族の場合の決断理由						
身の回りの世話をすることができるから/しないから)	-	/		14	14(100.0)	0(0.0)
近くに住診医がいるから/いないから)	-	/		7	3(42.9)	4(57.1)
治療を(続けるから/やめるから)	1	1(100.0)	0(0.0)	14	14(100.0)	0(0.0)
EQ-5D効用値	1	1.000	± -	28	0.862	± 0.140
HADS						
HADS-D						
抑うつなし	1	(50.0)		16	(59.3)	
抑うつ疑診	1	(50.0)		6	(22.2)	
抑うつ確診	0	(0.0)		5	(18.5)	
HADS-A						
不安なし	1	(50.0)		20	(74.1)	
不安疑診	1	(50.0)		5	(18.5)	
不安確診	0	(0.0)		2	(7.4)	

表A-17. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致別の退院時における患者家族属性

入院病院/退院在宅(n=4)			入院在宅/退院病院(n=2)			
	n	mean	sd	n	mean	sd
療養先の決断者(患者/家族)	4	3(75.0)	1(25.0)	2	1(50.0)	1(50.0)
療養先の決断者が家族の場合の患者との続柄						
配偶者	-	()		1	(100.0)	
子ども	-	()		0	(0.0)	
療養先の決断者が家族の場合の決断理由						
身の回りの世話をすることができないから	2	2(100.0)	0(0.0)	1	1(100.0)	0(0.0)
近くに住診医がいるから/いないから	2	2(100.0)	0(0.0)	-	/	/
治療を(続けるから/やめるから)	2	2(100.0)	0(0.0)	1	1(100.0)	0(0.0)
EQ-5D効用値	4	0.641	± 0.267	2	0.421	± 0.003
HADS						
HADS-D						
抑うつなし	4			2		
	2	(50.0)		0	(0.0)	
抑うつ疑診	0	(0.0)		0	(0.0)	
抑うつ確診	2	(50.0)		2	(100.0)	
HADS-A						
不安なし	4			1		
	2	(50.0)		0	(0.0)	
不安疑診	0	(0.0)		0	(0.0)	
不安確診	2	(50.0)		1	(100.0)	

表A-18. 入院時における患者自身の希望療養先と実際の療養先の一致不一致と療養先に関する説明との関連

	入院病院/退院病院	入院在宅/退院在宅	入院病院/退院在宅	入院在宅/退院病院	合計
説明あり	2(100.0)	16(66.7)	2(66.7)	1(50.0)	21(67.7)
説明なし	0(0.0)	8(33.3)	1(33.3)	1(50.0)	10(32.3)
合計	2(100.0)	24(100.0)	3(100.0)	2(100.0)	31(100.0)

初回用

記入日 年 月 日 No

問1 現在自宅で療養されていると思いますが、半年前は主にどちらで療養されてきましたか。

1 自宅 → 補問1 自宅療養の理由(○は2つまで)

2 自宅以外

1 病院 2 有床診療所 3 緩和ケア病棟 4 特別養護老人ホーム 5 その他()	1 自宅で治療が受けられる 2 病院での治療が済んだ 3 病院での費用負担が大きい 4 住み慣れたところですごしたい 5 家族との時間を多く持ちたい 6 身内や友人がそうしている 7 その他()
--	--

補問2 自宅に変更した理由(○は2つまで)

1 いつでも往診してもらえようになった 2 病院での治療が済んだ 3 病院での費用負担が大きい 4 住み慣れたところですごしたい	5 家族との時間を多く持ちたい 6 身内や友人がそうしている 7 まわりの人にすすめられた 8 その他()
---	---

問2 現在の自宅療養について

2-1 主たるがんの部位

1 食道 2 胃 3 大腸 4 肝臓・胆のう 5 すい臓 6 肺	7 乳房 8 子宮 9 前立腺 10 血液(リンパ) 11 骨 12 その他()
---	--

がんと診断されたのは 年 月頃 あるいは 年 月前

2-2 治療・処置(○はいくつでも)

1 化学療法 2 放射線療法 3 痛みの緩和(モルヒネなど) 4 胃ろう・腸ろう 5 経鼻経管栄養 6 中心静脈栄養	7 腹水除去 8 酸素吸入 9 尿路カテーテル 10 精神安定剤の服用 11 他の病気の治療 12 その他()
---	---

2-3 補助的な療法(○はいくつでも)

1 サプリメント・健康食品 2 漢方 3 針灸 4 温泉	5 マッサージ 6 アロマセラピー 7 ペット 8 その他()
---------------------------------------	---

2-4 利用しているサービス(○はいくつでも)

1 訪問診療・往診 2 病院通院 3 訪問看護 4 訪問介護(ホームヘルプ) 5 訪問入浴 6 テイサービス 7 テイケア 8 ショートステイ 9 その他()	約()回/週 約()回/月 約()回/週 約()回/週 約()回/週 約()回/週 約()回/週 約()回/月 約()回/週・月
--	---

介護保険…要介護度()度 身体障害者手帳…()級

問3 今後はどこで療養したいですか。

1 自宅 → 補問1 充実してほしいサービス(○は2つまで)

2 自宅以外

1 病院 2 有床診療所 3 緩和ケア 4 病棟特別養護老人ホーム 5 その他()	1 訪問診療・往診 2 訪問看護 3 訪問介護(ホームヘルプ) 4 訪問入浴 5 テイサービス 6 テイケア 7 ショートステイ 8 その他()
--	--

補問2 自宅以外を希望する理由(○は2つまで)

1 担当医がすすめる 2 自宅では必要な治療が受けられない 3 急変時が不安 4 自宅以外で緩和ケアを受けたい	5 家族に負担がかかる 6 まわりの人がすすめる 7 その他()
--	---

問4 在宅における終末期医療の充実に関して
(各項目ごとに○は1つ)

	と重 も要	や重 や要	ど ちな もい	あ まり 重 要	で 重 要	わ か ら な い
1 痛みなどの症状を緩和する技術	1	2	3	4	5	6
2 精神面のサポート	1	2	3	4	5	6
3 医療者とのコミュニケーション	1	2	3	4	5	6
4 診療所と病院との連携	1	2	3	4	5	6
5 在宅医療を支援する診療所の普及	1	2	3	4	5	6
6 通所サービス、デイケアの充実	1	2	3	4	5	6
7 看取り休暇の推進	1	2	3	4	5	6
8 家族に対する死別後のケア	1	2	3	4	5	6
9 その他()	1	2				

問5 在宅における終末期医療の普及に関して
(各項目ごとに○は1つ)

	と重 も要	や重 や要	ど ちな もい	あ まり 重 要	で 重 要	わ か ら な い
1 終末期医療の専門職の養成	1	2	3	4	5	6
2 関連施設に関する情報の提供	1	2	3	4	5	6
3 医療施設間の連携	1	2	3	4	5	6
4 緩和ケア病棟の設置	1	2	3	4	5	6
5 緩和ケアの対象となる病気の種類を増やす	1	2	3	4	5	6
6 一般病棟での終末期医療の充実	1	2	3	4	5	6
7 特別養護老人ホームでの終末期医療の充実	1	2	3	4	5	6
8 事前の意思表示の法的な整備	1	2	3	4	5	6
9 診療報酬の重点配分	1	2	3	4	5	6
10 自己負担金の軽減	1	2	3	4	5	6
11 第三者による評価	1	2	3	4	5	6
12 その他()	1	2				

問6 終末期医療における治療の中止について、わが国ではどう扱われるのが適切ですか。

(○は1つ)

- 法制化する
- 指針(ガイドライン)で対応する
- 病院の倫理委員会による本人・家族の意思確認
- 中央の倫理委員会の判断をあおぐ
- 家庭裁判所など司法の判断をあおぐ
- その他()

問7 下記はあなたと同じ症状の方々が重要だと述べた項目です。項目ごとに、ごく最近(過去7日間程度)のあなたの状態に最もよくあてはまる番号をひとつだけ選び、○で囲んでください。

※国際的な QOL 尺度である FACIT-Sp 日本語版をそのまま用いていますので、気分を書されたり、つらいお気持ちになる場合もありますが、何とぞお許し下さい。

身体症状について	全くあてはまらない	わずかにあてはまる	多少あてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
体に力が入らない感じがする。	0	1	2	3	4
吐き気がする。	0	1	2	3	4
体の具合のせいで家族への負担となっている。	0	1	2	3	4
痛みがある。	0	1	2	3	4
治療による副作用に悩んでいる。	0	1	2	3	4
自分は病气だと感じる。	0	1	2	3	4
体の具合のせいで、床(ベッド)で休まざるを得ない。	0	1	2	3	4
社会的・家族との関係について	全くあてはまらない	わずかにあてはまる	多少あてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
友人たちを身近に感じる。	0	1	2	3	4
家族を親密に感じる。	0	1	2	3	4
家族から精神的な助けがある。	0	1	2	3	4
友人たちからの助けがある。	0	1	2	3	4
家族は私の病気を充分受け入れている。	0	1	2	3	4
私の病気について家族間の話し合いに満足している。	0	1	2	3	4
私は病気ではあるが、家族の生活は順調である。	0	1	2	3	4
パートナー(または自分を一番支えてくれる人)を親密に感じる。	0	1	2	3	4

次の設問の内容は、現在あなたの性生活がどの程度であるのかとは無関係です。考えにくいと思われる場合は四角にシ印を付け、次の設問に進んでください。
性生活に満足している。 0 1 2 3 4

精神的状態について	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
悲しいと感じる。	0	1	2	3	4
病気を冷静に受け止めている自分に満足している。	0	1	2	3	4
病氣と闘うことに希望を失いつつある。	0	1	2	3	4
神経質になっている。	0	1	2	3	4
死ぬことを心配している。	0	1	2	3	4
病氣の悪化を心配している。	0	1	2	3	4
活動状況について	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少あて はまる	かなりあて はまる	非常に あてはまる
仕事(家のことも含む)をすることができず。	0	1	2	3	4
仕事(家のことも含む)は生活の張りになる。	0	1	2	3	4
生活を楽しむことができる。	0	1	2	3	4
自分の病氣を充分受け入れている。	0	1	2	3	4
よく眠れる。	0	1	2	3	4
いつもの娯楽(余暇)を楽しんでいる。	0	1	2	3	4
現在の生活の質に満足している。	0	1	2	3	4
その他心配な点	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
心が安らかだ。	0	1	2	3	4
私には生きがいがある。	0	1	2	3	4
私の人生は充実している。	0	1	2	3	4
なかなか心穏やかに成れない。	0	1	2	3	4
自分が生きていることの意義を感じる。	0	1	2	3	4
自分自身の心の奥底に、安らぎを感じる。	0	1	2	3	4
心が穏やかな状態に保たれている。	0	1	2	3	4
自分の人生には意味も目的もない。	0	1	2	3	4
心の安らぎを感じさせず人生観をもっている。	0	1	2	3	4
強く生きるための人生観をもっている。	0	1	2	3	4

	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
病氣を患ったお陰で、自分の人生観は いっそう深まった。	0	1	2	3	4
病氣でどんなことになっても、大丈夫だ。	0	1	2	3	4
その他質問項目以外に、特に問題と感じている事項がありましたら、その内容と程度を 下記にご記入下さい。	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
()	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4

ご自身について

年齢 () 歳	性別	男	女	居住地 ()	都道府県 ()
介護時間 約 () 時間/日	主な介護者の続柄 ()				

ご意見を自由に書き下さい。

ご協力、ありがとうございます。

2 回目以降

記入日 年 月 日 No

※ 2 週間ごとにご記入下さい

問1 この1週間の自宅療養について

行った治療(○はいくつでも)	利用したサービス(○はいくつでも)
1 化学療法	1 訪問診療・住診 約()回
2 放射線療法	2 病院通院 約()回
3 痛みの緩和(モルヒネなど)	3 訪問看護 約()回
4 胃ろう・腸ろう	4 訪問介護(ホームヘルプ) 約()回
5 経鼻経管栄養	5 訪問入浴 約()回
6 中心静脈栄養	6 デイサービス 約()回
7 腹水除去	7 デイケア 約()回
8 酸素吸入	8 ショートステイ 約()回
9 尿路カテーテル	9 その他() 約()回
10 精神安定剤	
11 他の病気の治療	
12 その他()	

社会的・家族との関係について

	全くあてはまらない	わずかにあてはまる	多少あてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
友人たちを身近に感じる。	0	1	2	3	4
家族を親密に感じる。	0	1	2	3	4
家族から精神的な助けがある。	0	1	2	3	4
友人たちからの助けがある。	0	1	2	3	4
家族は私の病気を充分受け入れている。	0	1	2	3	4
私の病気について家族間の話し合いが満足している。	0	1	2	3	4
私は病気ではあるが、家族の生活は順調である。	0	1	2	3	4
パートナー(または自分を一番支えてくれる人)を親密に感じる。	0	1	2	3	4

次の設問の内容は、現在あなたの性生活がどの程度であるのかとは無関係です。答えにくくと思われる場合は四角にレ印を付け、次の設問に進んでください。

性生活に満足している。

精神的状態について

	全くあてはまらない	わずかにあてはまる	多少あてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
悲しいと感じる。	0	1	2	3	4
病気を冷静に受け止めている自分に満足している。	0	1	2	3	4
病気と闘うことに希望を失いつつある。	0	1	2	3	4
神経質になっている。	0	1	2	3	4
死ぬことを心配している。	0	1	2	3	4
病気の悪化を心配している。	0	1	2	3	4
活動状況について	全くあてはまらない	わずかにあてはまる	多少あてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
仕事(家のことも含む)をすることができ。	0	1	2	3	4
仕事(家のことも含む)は生活の張りになる。	0	1	2	3	4
生活を楽しむことができる。	0	1	2	3	4
自分の病気を充分受け入れている。	0	1	2	3	4

問2 下記はあなたと同じ症状の方々が重要だと述べた項目です。項目ごとに、ごく最近(過去7日間程度)のあなたの状態に最もよくあてはまる番号をひとつだけ選び、○で囲んでください。

※国際的な QOL 尺度である FACIT-Sp 日本語版をそのまま用いていますので、気分を害されたり、つらいお気持ちになる場合もあるかと存じますが、何とぞお許し下さい。

身体症状について	全くあてはまらない	わずかにあてはまる	多少あてはまる	かなりあてはまる	非常にあてはまる
体が力が入らない感じがする。	0	1	2	3	4
吐き気がする。	0	1	2	3	4
体の具合のせいで家族への負担となっている。	0	1	2	3	4
痛みがある。	0	1	2	3	4
治療による副作用に悩んでいる。	0	1	2	3	4
自分は病気だと感じる。	0	1	2	3	4
体の具合のせいで、床(ベッド)で休まざるを得ない。	0	1	2	3	4

	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
よく眠れる。	0	1	2	3	4
いつもの娯楽(余暇)を楽しんでいる。	0	1	2	3	4
現在の生活の質に満足している。	0	1	2	3	4
その他心配な点	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
心が安らぐ。	0	1	2	3	4
私には生きがいがある。	0	1	2	3	4
私の人生は充実している。	0	1	2	3	4
なかなか心穏やかになれない。	0	1	2	3	4
自分が生きていることの意義を感じる。	0	1	2	3	4
自分自身の心の奥底に、安らぎを感じる。	0	1	2	3	4
心が穏やかな状態に保たれている。	0	1	2	3	4
自分の人生には意味も目的もない。	0	1	2	3	4
心の安らぎを感じさせる人生観をもっている。	0	1	2	3	4
強く生きるための人生観をもっている。	0	1	2	3	4
病気を患ったお陰で、自分の人生観はあっそう深まった。	0	1	2	3	4
病気でどんなことになっても、大丈夫だ。	0	1	2	3	4

その他質問項目以外に、特に問題と感じている事項がありましたら、その内容と程度を下記にご記入下さい。

	全くあて はまらない	わずかに あてはまる	多少 あてはまる	かなり あてはまる	非常に あてはまる
()	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4

ご意見を自由にお書き下さい。

ご協力、ありがとうございました。

図 B-1. 終末期がん診療の状況

在宅終末期がん患者の診療を行っているか
(n = 1290)

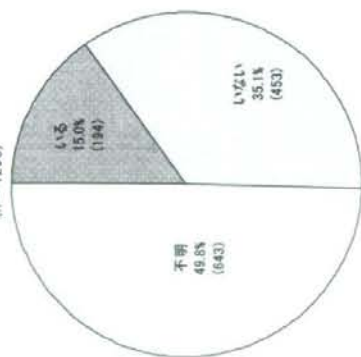


図 B-2. 終末期がん診療の状況

在宅終末期がん患者の診療を行っているか(不明を除外)
(n = 647)

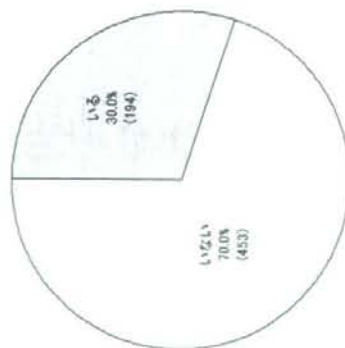


図 B-3. 主たるがんの部位

問2-1. 主たるがんの部位

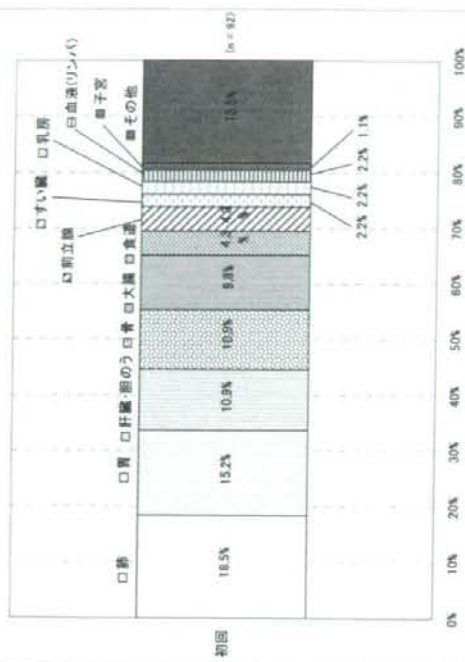


図 B-4. 治療・処置の変化

問2-2. 治療・処置(複数回答)

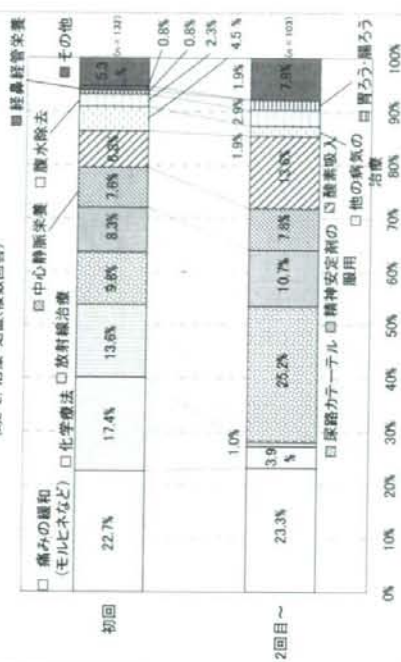


図 B-5. 補助的な療法

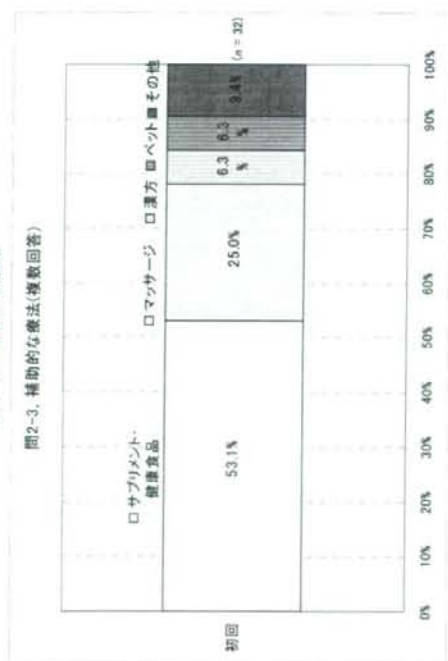


図 B-7. 利用サービスの变化

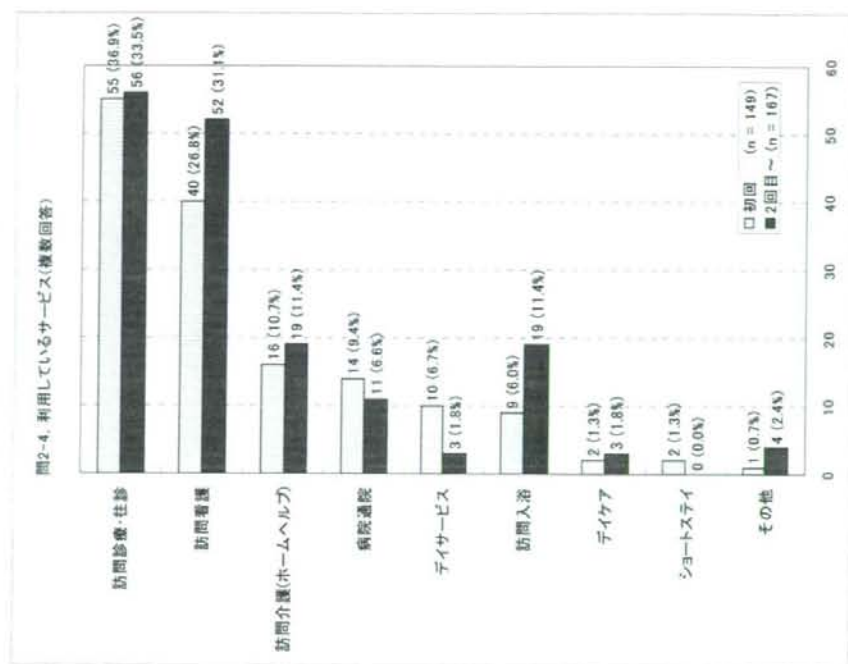


図 B-6. 利用サービスの变化

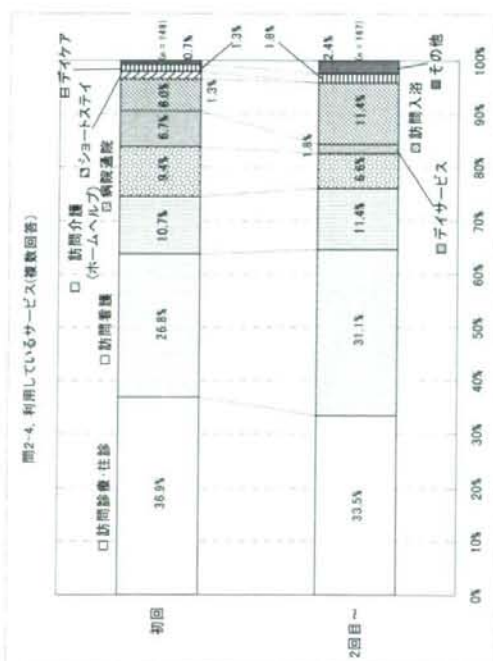


図 B-8. 半年前の療養先

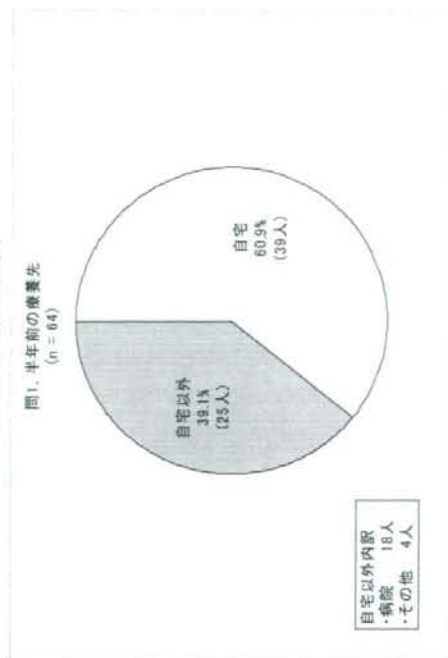


図 B-10. 自宅療養の理由

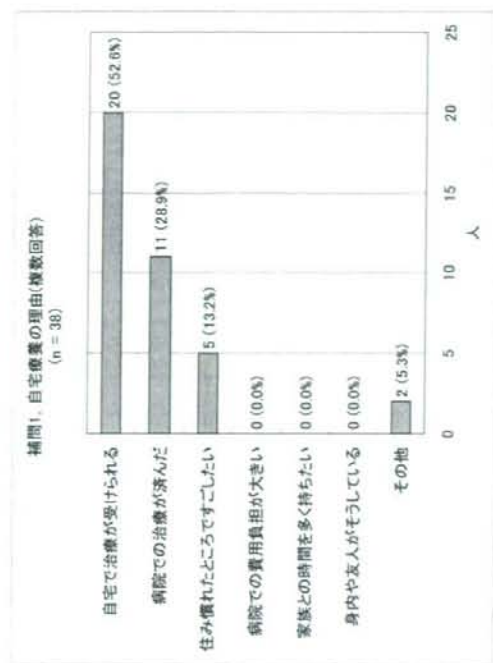


図 B-9. 半年前の療養先

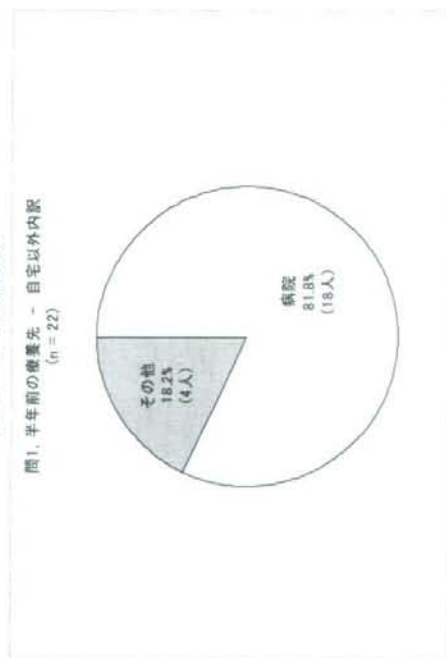


図 B-11. 自宅療養の理由

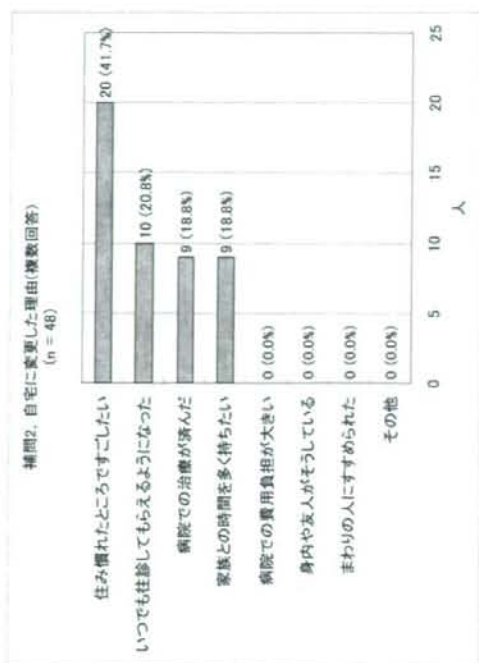


図 B-12. 今後の療養希望場所

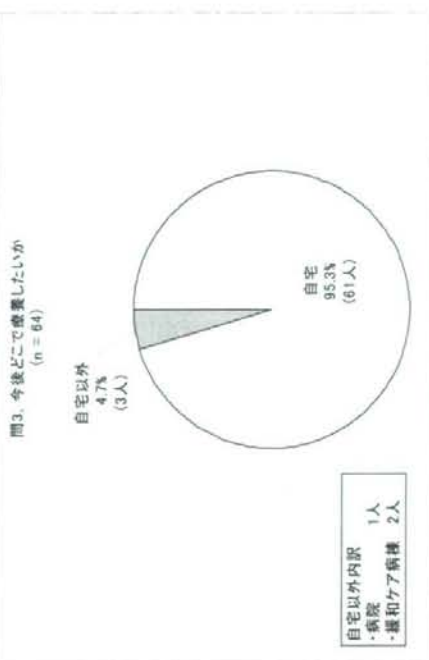


図 B-14. 充実してほしいサービス

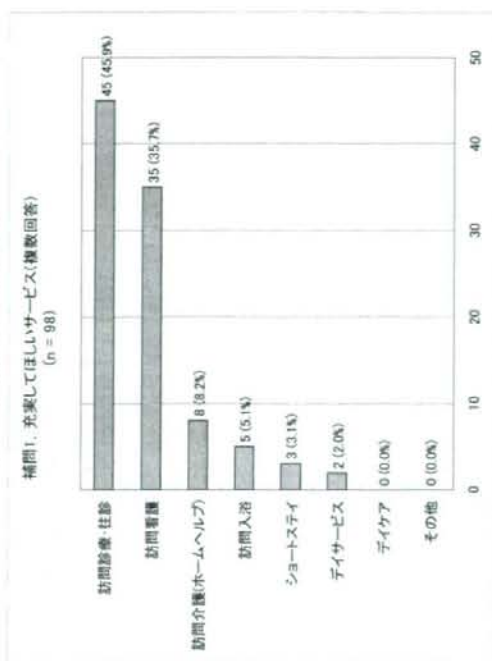


図 B-13. 今後の療養希望場所

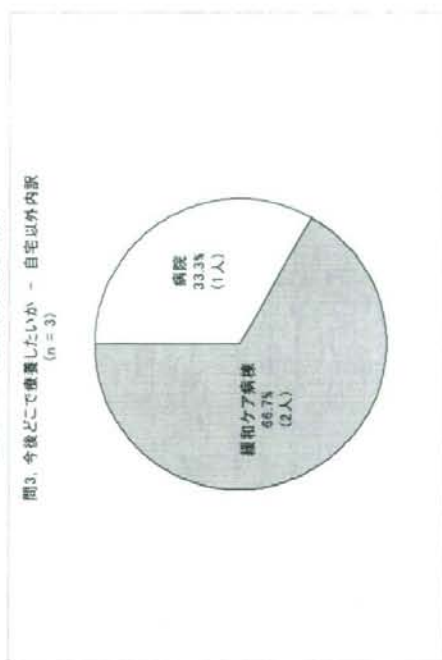


図 B-15. 自宅以外の希望理由

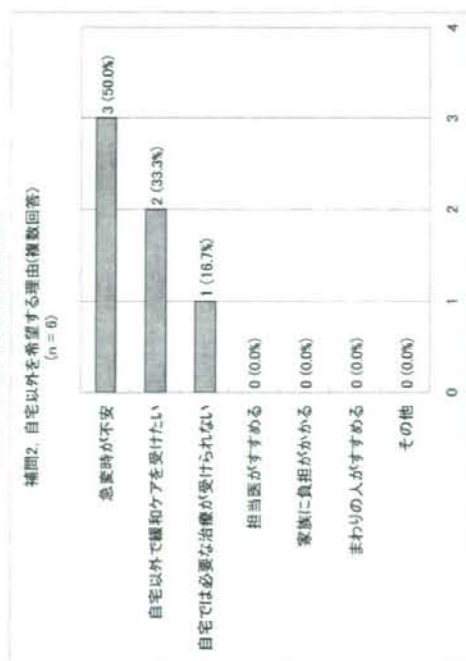


図 B-16. 在宅終末期医療の充実

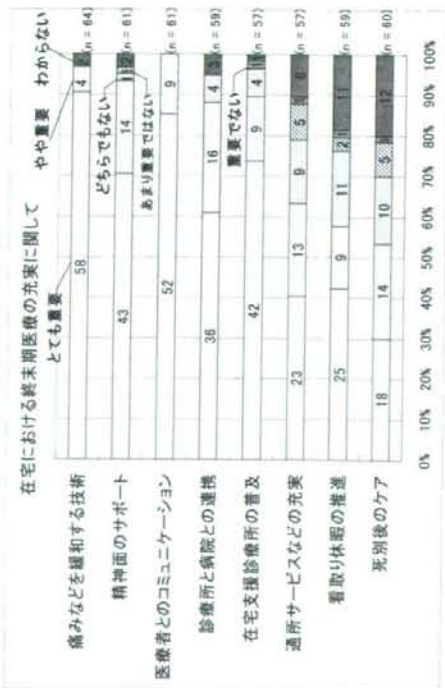


図 B-17. 在宅終末期医療の充実

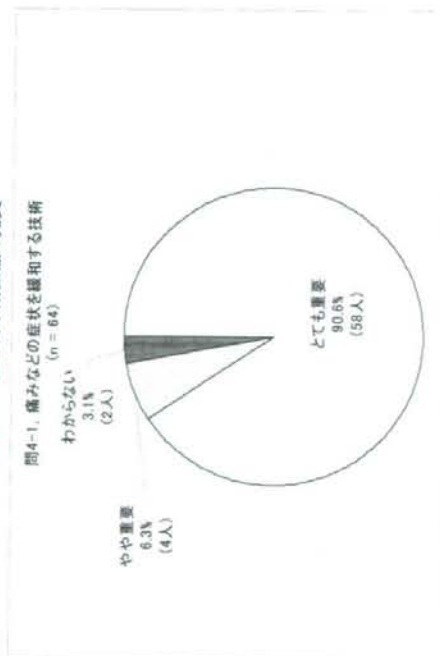


図 B-18. 在宅終末期医療の充実

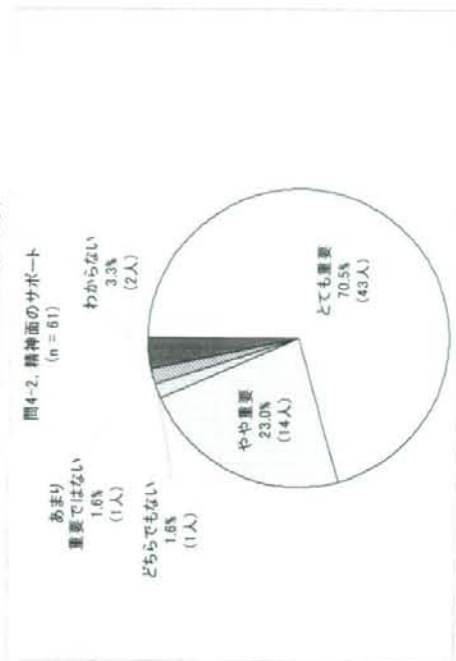


図 B-19. 在宅終末期医療の充実

